

日本認知言語学会第12回全国大会プログラム 【1日目】

9月17日(土) 受付9時30分から

		第1室	第2室		第3室
		101	102		308
ワークショップ	10:00 12:20	<テーマ> When typology meets cognitive linguistics ○Wen-yu Chiang (National Taiwan University) /Kaoru Horie (Nagoya University) /Shuanfan Huang (National Taiwan University) /Chiarung Lu and Wei-hsien He (National Taiwan University) /Suzanne Kemmer (Rice University)	<テーマ> 日本語周辺の諸言語における「ナル表現」をめぐって—認知類型論的研究を目指して— ○池上嘉彦(昭和女子大学大学院)/守屋三千代(創価大学)/彭広陸(北京大学)/岡智之(東京学芸大学)/ テキメン・アイシュヌール(トルコ・アンカラ大学)/ 百留康晴(島根大学)/ 百留恵美子(高雄第一科技大学)		<テーマ> 認知言語学は第一、第二言語としての日本語習得を説明できるか ○森山新(お茶の水女子大学大学院)/橋本ゆかり(お茶の水女子大学)/加藤直子(お茶の水女子大学[院])/Nguyen Van Anh(お茶の水女子大学[院])

昼食休憩(12:20~13:10)

開催校挨拶 (13:10~13:20) 会場：講堂	長友恒人奈良教育大学長
-------------------------------------	-------------

特別講演 (13:20~15:20) 会場：講堂	講師：Professor Eve Sweetser (カリフォルニア大学バークレー校) 演題：Subjectivity, perspective, and Basic Communicative Space Networks
------------------------------------	---

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室
		101	102	201	306	308
司会		今井新悟 (筑波大学)	瀬戸賢一 (佛教大学)	多門靖容 (愛知学院大学)	三宅登之 (東京外国語大学)	村尾治彦 (熊本県立大学)
第1発表	15:40 16:20	①「この」と「その」の文脈照応について 杉山さやか(京都大学[院])	①「修辭のネットワークにおける音反復レトリックの分布」小松原哲太(京都大学[院])	①「心象風景と言語表現—「穏やか」の意味分析—」福富麻子(名古屋大学[院])	①「温度に関する感情表現の日中対照研究—「あたたかいもてなし」と「热情接待」を中心に—」吳沛珊(大阪大学[院])	①「FV1テハV2」構文の意味生成と動詞間意味関係性への考察 黄愛玲(台湾国立高雄第一科技大学)・葛西洋三(台湾国立高雄第一科技大学)
第2発表	16:20 17:00	②「グラウンド」の観点から見た「今」とコ系指示詞の時間表現—「現在」を指示する指示詞と指標詞の統合的分析へ向けて—」田口慎也(京都大学[院])	②「テキストのジャンルとメタファー表現のコレスポネンス分析—「関係」のメタファーを例に—」大石亨(明星大学)	②「現代日本語の「汚い」と「汚らしい」に関する一考察」石黒利江子(名古屋大学[院])	②「日・中・韓国語における変化表現と結果状態表現の使い分けについて:認知語用論的アプローチによる分析」都築鉄平(南山大学[院])	②「構文交替からの日本語転移修飾の再規定」神澤克徳(京都大学[院])
第3発表	17:00 17:40	③「たて」と「よこ」の決まり方と空間参照枠 鷲尾智子(神戸市外国語大学[学部])・本多啓(神戸市外国語大学)	③「共感覚比喩の否定的意味喚起と一方向性仮説の関係に関する実験的検討」作道大哉(電気通信大学[院])・坂本真樹(電気通信大学)	③「日本語動詞「見る」における自動性の認知言語学的考察」高橋暦(名古屋大学[院])	③「日中両言語における擬音語の考察—意味拡張から見た特性をめぐって—」游韋倫(神戸大学[院])	③「英語のhave所有構文の意味の連続性」一條祐哉(日本大学)

懇親会(18:15~20:15) 奈良教育大学生協食堂

日本認知言語学会第12回全国大会プログラム 【2日目】

9月18日(日) 受付9時10分から (受付は1日目に受付を済まされていない方だけで結構です)

		第1室 101	第2室 102	第3室 201	第4室 306	第5室 308
司会		吉村あき子 (奈良女子大学)	中村芳久 (金沢大学)	野田大志 (東北学院大学)	辻本智子 (大阪工業大学)	益岡隆志 (神戸市外国語大学)
第4発表	9:30 10:10	④「日本語の否定接頭辞の体系的分類—価値特性と動的特性の組み合わせによる記述—」久保圭(京都大学[院])	④“My FORMER Boyfriend: Where Can It Be Categorized?”平岩加寿子(愛知県立大学[院])	④「複合動詞「～切る」の意味と用法—認知言語学の意味関連の観点から—」許臨揚(東京外国語大学[院])	④「スキーマ理論から言語教育を考える—「行動スキーマ」の存在とその可能性—」ヤン・ジョンヨン(埼玉大学[院])	④「記憶内容の提示を標示する「たことがある」文—存在文としての考察—」大西美穂(名古屋大学[院])
第5発表	10:10 10:50	⑤「「所有の属格」対「否定／内包の属格」:類像性による動機づけ」中村渉(東北大学大学院)	⑤「主観性と見えない参加者の可視化—客体化の認知プロセス—」町田章(広島大学大学院)	⑤「「切る」「切れる」「切らす」の自他対応の成立条件—力動性による分析—」許永蘭(名古屋大学[院])	⑤「認知言語学に基づく英語前置詞教授法とその効果の検証」長加奈子(北九州市立大学)	⑤「複合動詞の認知言語学的再規定」金光成(京都大学[院])
10分休憩						
司会		梶山洋介 (名古屋大学)	後藤万里子 (九州工業大学)	尾谷昌則 (法政大学)	小嶋美由紀 (関西大学)	野村益寛 (北海道大学)
第6発表	11:00 11:40	⑥「メトニミーの2タイプ—参照点構造の精緻化を通して—」山本幸一(愛知教育大学附属高等学校)	⑥「Content Domainにおける含意関係を遡るふたつの推論—「ようだ」と「らしい」から見えるもの—」木下りか(大手前大学)	⑥「類義語「いっぱい」と「たっぷり」の意味分析」金奈淑(名古屋大学[院])	⑥「日本語・中国語・英語の指示語表現にみるダイクシス構造の違い」新村朋美(フリー)・単娜(東京大学[院])・鄭若曦(東京大学[院])・ハヤシ・ブレンダ(宮城学院女子大学)	⑥“Noticing and metalinguistic understanding in second language construction learning”中村大輔(青山学院大学[院])
第7発表	11:40 12:20	⑦「日本語の名詞句と節が表す「部分—全体の関係」の比較」田中秀毅(広島女学院大学)	⑦「言語変化の—方向性としての『原因的意味』への指向性について:文文化現象の「—方向性の仮説」の再評価」山口和之(日本体育大学)	⑦「視点の違いによる次元形容詞の使い分け—「広い・狭い」と「太い・細い」—」劉笑倩(拓殖大学[院])	⑦「中国語における〈思考〉のメタファー再考」韓涛(名古屋大学[院])	⑦“Verbal Reduplication and Grammaticalization: A Corpus-based Study on Mandarin VV-kan and V-kankan Constructions”Yi-Yang Cheng (National Taiwan University [Graduate Institute of Linguistics])・Chiarung Lu (National Taiwan University, Graduate Institute of Linguistics)

昼食休憩(12:20~14:00 ポスターセッションを含む)

ポスターセッション	12:50 13:50 (9件同時進行)	2 0 3	「日本の男は、なぜ告白がヘタなのか—うちあけの「の」をめぐるノダ文のフレームについて—」秋月康夫(成蹊大学[院])	「日本語話者の<事態把握>の実態—児童・生徒に対する調査に基づいて—」守屋三千代(創価大学)・池上嘉彦(昭和女子大学)	「移動事象の認知プロセスと移動表現:日英語の比較対照から」田中瑞枝(金沢大学[院])	「時空間に適應される形容詞の多義性の分析—「近い／遠い」の意味を通じて—」寺崎知之(京都大学[院])／日本学術振興会特別研究員)	
	2 0 4	「形容詞修飾表現の意味構造的分類—名詞フレームの観点から—」菅谷友亮(京都大学[院])	「Furnitureの非可算性に関する一考察」木本幸憲(京都大学[院])／日本学術振興会特別研究員)	「英語学習への応用の観点から“Would you give me a wine?”を考察する」今井隆夫(愛知みずほ大学)	「N+V-ing型複合語の意味・機能による再分類」中馬隼人(京都大学[院])	「スペイン語の味覚形容詞dulce(sweet)について—ネガティブな感覚・感情を表す名詞との共起関係を中心に—」丸岡真紀穂(関西外国語大学[院])	

総会(14:00~14:10) 会場: 講堂

シンポジウム (14:10~16:50) (講堂)	テーマ 構文研究の現状と展望 司会: 早瀬尚子 (大阪大学) 講師: 谷口一美 (大阪教育大学) ・ 熊代敏行 (慶應義塾大学) ・ 児玉一宏 (京都教育大学)
--	--

*書籍展示は、両日とも104・105